

【骨塩定量検査（DEXA）】

骨塩定量検査とは骨を形成するカルシウムなどのミネラル成分の量、骨の強さを測定します。加齢やホルモンバランス異常などにより起こる「骨粗しょう症」や「代謝性骨疾患」の診断に役立ちます。

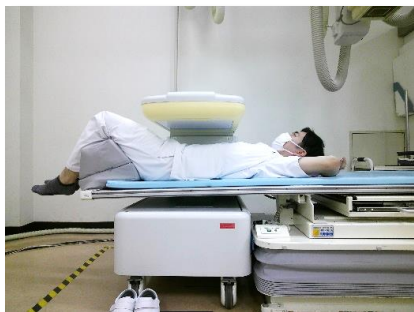
⚠ 注意事項

- 衣服のボタン等金具やプラスチックが写真に写ってしまうのでその場合、着替えをお願いします。
- 検査時間は約 15 分です。呼吸はしていただいて大丈夫ですが、その間動かないようにお願いします。
- 人工関節等、**金属**を入れている場合、事前に放射線技師にお伝えください。

1. 測定部位

〔 腰椎 〕

脊椎は骨量が低下すると転倒等の外傷がなくても荷重により圧迫骨折が起こりやすい部位です。腰椎は骨代謝が活発でほかの骨と比べて骨量の変化をとらえやすくなっています。



〔 大腿骨 〕

大腿骨は転倒等で骨折がとても起こりやすい部位です。特に高齢者では大腿骨の骨折により寝たきり等に繋がってしまうため定期的な検査が大切です。



2. 測定結果について

測定結果は「同じ年齢」「若年成人」のそれぞれの平均骨密度と比較した割合(%)で2種類表示されます。

例) あなたの骨密度は若年成人の平均骨密度と比較すると 80% です。

あなたの骨密度は同じ年齢の平均骨密度と比較すると 90% です。

過去のデータとの比較もできるので食生活の見直しや生活環境の改善に役立ちます。

「骨粗しょう症」の判定の基準は“若年成人”と比較したときの値に基づいて診断されます。

- ・・・80%以上 → 正常 ●
- 70～79% → 骨量減少（骨減少症） ●
- 70%未満 → 骨粗しょう症 ●

